

2019 年度事業報告書

公益財団法人広島YMCA



2019年度 国際コミュニティーセンター実施活動

2019年

4/13 (土)	ＹＹＹフォーラム
5/5 (日)	原爆の子の像建立記念式典 (広島女学院大学協力)
6/2 (日)	広島ＹＭＣＡ会員大会
7/21 (日) ~ 8/2 (金)	Let's Get Together 派遣 (広島・ホノルル交流)
7/21 (日) ~ 8/12 (月)	Global Youth Friendship 派遣 (広島・ハノーバー交流)
8/4 (日)	市民平和行進 (広島県生協連協力)
8/4 (日) ~ 8 (木)	広島ＹＭＣＡ国際青少年平和セミナー (ピースセミナー) ＹＭＣＡ175世界大会 / 広島ユース派遣 (ロンドン)
8/6 (火)	平和のとうろう流し
8/7 (月)	日中韓ＹＭＣＡユース平和委員「全国ＹＭＣＡ平和ウィーク」
8/31 (土) ~ 9/6 (金)	ＡＰＡＹユースアッセンブリー (日本ＹＭＣＡ同盟)
9/21 (土) ~ 27 (金)	スティーブン・リーパー 気候変動ストライキサポート
10/6 (日)	広島ＹＭＣＡチャリティーバザー
10/17 (木) ~	台風15号19号災害復興支援募金開始
10/25 (金)	広島ＹＭＣＡ創立記念礼拝
11/2 (土) ~ 4 (月・祝)	西日本ＹＭＣＡリーダー研修会 (熊本 / 阿蘇)
11/8 (金)	世界ＹＭＣＡ/ＹＷＣＡ合同祈祷週・集会 (広島ＹＭＣＡ)
11/21 (木)	サーロー節子さん ユース交流会
11/23 (祝・土)	広島ＹＭＣＡインターナショナル・チャリティーラン
12/1 (日)	広島ＹＭＣＡクリスマス
12/7 (土) ~ 23 (月)	広島ＹＭＣＡ国際協力募金 街頭募金活動Week

2020年

2/8 (土) ~ 9 (日)	西日本豪雨災害復興支援 リフレッシュキャンプ
2/26 (水)	ＹＭＣＡピンクシャツデー (全国協働)
3/11 (水)	3.11 東日本大震災を忘れない追悼の集い (中止)
3/12 (木) ~ 26 (木)	フィリピンボランティアワークキャンプ (中止)



2019 年度事業の概況とご報告

2019 年度も公益財団法人広島 Y M C A の使命（目的）に立脚し、子どもから大人まで、幅広い世代の人々がボランティアによる地域貢献、奉仕活動、国際協力・交流活動を促進するとともに、当該活動の実践を通して心身の健全な成長と奉仕の精神を育み、人々が共に生きる平和な社会を築くことに、全力を挙げて取り組んだ。

特に 2019 年度は、例年の活動に加え、あらたに発災した台風 15 号・19 号復興支援活動に関して、Y M C A は全国的に大きな役割を担った。全国 Y M C A 協働の活動として、まずは募金活動を展開。その後、被災地への人的な派遣や支援金の送金等を行い、被災地の直接支援が終息に向かう中、長期的支援として被災地で活動する団体や被災した施設に対してクリスマスリースを送る活動などをワイズメンズクラブの協力を得て展開した。また、一昨年（2018）年の西日本豪雨災害の復興支援活動として、被災地の子ども達を対象にしたリフレッシュキャンプの実施などを行った。

平和活動として、国連において制定された核兵器禁止条約の批准にむけ、広島（広島県）のヒバクシャ団体や平和 N G O と協力した核兵器廃絶に関する講演会やイベントを展開した。特に 2017 年のノーベル平和賞受賞の際、スピーチを行ったサーロー節子さんを招聘し、若者を対象にした教育講演や交流会などを行い、核兵器廃絶の思いを伝える活動を行った。

また、若者を対象に平和を基軸にした国際交流・国際支援・平和教育活動プログラムとして、ハワイ・ホノルル交流、ドイツハノーバー交流を実施し、海外へ若者の派遣を行った。国内では、国際青少年平和セミナーや平和の灯ろう流し等を実施し、パートナーシップ Y M C A やリンケージ Y M C A の国々や国内の Y M C A より、多くの若者が参加し、約 80 名の参加があった。

また、市内各 N P O 団体や広島県被団協との協力により、核兵器禁止条約制定に向けた共同行動やヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会の事務局を担い、多くの団体の市民活動をサポートした。年度末の 3 月には、継続の課題として、フィリピン台風復興支援のフィリピンワークキャンプの実施予定であったが、新型肺炎の拡大防止のため、残念ながら中止とした。

1) 平和教育活動

1) 平和教育活動・平和活動

広島（広島県）の被爆体験を次世代に継承し、世界の紛争地域や被災地域の状況や支援の必要性を講座やセミナーを通して学ぶ事業を行った。

①第 41 回国際青少年平和セミナーの実施

第 41 回国際青少年平和セミナーを 8 月 4 日～8 日の間、広島において実施。栃木、東京、横浜、広島、熊本、インド、台湾、韓国、等の国と地域から高校生・大学生・専門学 校生など約 80 名が参加し、運営はボランティアリーダーによって行われた。被爆体験講座においては、広島県原爆被害者団体協議会より理事長代行の箕牧智之氏を講師に迎え、核兵器被害の実相を伝えることができた。



②第 15 回平和の灯ろう流しの実施

8 月 6 日に広島 Y M C A としては 15 回目の「灯ろう流し」を、地域の子供達や家族・Y M C A 国際青少年平和セミナーの参加者、運営ボランティア等約 200 名により実施。海外から寄せられた平和のメッセージを灯ろうにし、平和の願いと共に参加者の手で丁寧に元安川に浮かべられた。



③日中韓 Y M C A ユース平和委員会「折鶴プロジェクト」

全国の Y M C A のユースが中心となって、日中韓 Y M C A ユース平和委員会としての 2 年目の活動を行った。今年度は 8 月 3 日～8 月 8 日に行われる広島 Y M C A ピースセミナーにあわせ、全国 Y M C A で折鶴を広島に送る「平和週間プログラム」を展開した。ユースピースセミナーに参加しているユースと共に 1 万羽の千羽鶴にして、原爆の子の像にて献納式を行った。8 月 6 日に献納の予定であったが、広島は雨になったため、急遽 7 日に予定を変更して献納式を行うこととした。



④平和のための国際NGOおよび地域NPOとの協力

国際NGOとの協力

「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」「ピースボート」「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」などとの協力により、核兵器禁止条約批准の後押しをするための共同行動（集会やイベント）を展開した。

特に今年度は核兵器禁止条約制定に貢献したICANから、サーロー節子さんを招きユース交流会やICAN国際運営委員の川崎哲氏の講演もおこなった。また、2018年にノーベル平和賞を受賞したコンゴの医師、デニムクウェゲ氏の来広サポートも行い、多くの市民の方との対話集会の実施やSNSを通して広島を平和活動を世界に向けて発信した。

地域NPOとの協力

公益財団法人広島YMCAは、ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会の一つとして、署名活動の事務局を担っている。2019年度も「ヒバクシャ国際署名」街頭署名活動が平和公園・元安橋・広島市内各所で行なわれ、核兵器廃絶にむけての地道な活動を続けている。

また、新しくユースが中心となって環境問題に取り組む「Fridays for future」と協力し、気候変動ストライキによる平和公園での座り込みや気候変動マーチのデモ行進などのサポートも行った。



2) 地域奉仕活動

YMCAの会員やボランティア・リーダーによる障がい者等の支援活動や、チャリティー活動により地域の福祉・奉仕プログラムを行った。

広島県内の各種行事に会員・ボランティアと共に参加し、地域社会への貢献を行った。

①インターナショナル・チャリティーラン

個人や企業を対象に、障がいのある子ども達の支援のためのランニングイベントを開催し、参加費・協賛費を障がいのある子ども達の支援活動に充当した。

日程：11月23日（祝）

場所：広島中央公園 参加者：約309名 69チーム

運営ボランティア：約50名 協賛：49団体

全国の障がい児プログラム運営に100,000円支援

YMCA障がい児クラスの活動に300,000円支援



②YMCAチャリティーバザー

「みつかる。つながる。よくなっていく。」のスローガンのもと、広島YMCAチャリティーバザーを行い、各部門が趣向を凝らした模擬店や並行して専門学校の学園祭も開催され、地域コミュニティの方々へのサービスを提供した。チャリティーバザーでの収益金は、災害支援や平和活動・国際交流やユース育成のために活用される予定。



③広島県内の各種行事への参加・協力

YMCA会員やボランティア・メンバー・リーダーで「原爆の子の像建立記念式典」（広島女学院大学主催）・「戦争も核兵器もない平和な世界を市民の集い」（広島県ヒバクシャ国際署名推進連絡会）・「核兵器禁止条約批准を願う集い」（HANWA）「ヒバクシャ国際署名街頭署名活動」等の行事に主体団体として参加し、地域の平和活動や国際活動に協力した。



④ Y M C A クリスマス「クリスマスリースを贈ろう」

ワイズメンズクラブと協働し、被災地や支援が必要な団体にクリスマスリースを贈る活動を展開した。広島 Y M C A の会員・ファミリーの協力のもと、台風 15 号・19 号の被害にあった全国の被災地にリースを届けた。

日程・12月1日 場所：広島 Y M C A 参加者：約 60 名



⑤ いじめに反対するピンクシャツデーの実施

2月26日、ピンクシャツやピンクの小物を身につけて「いじめ反対」のアピールを行った。2019年度は150件の写真・いじめ反対のメッセージが届くようになり活動は拡大した。

参加者 247名 会員 751名 他団体 26名 合計 1,024名



3) 国際交流・国際支援活動

Y M C A の持つ国際的なネットワークを活用し、国際交流を促進し、合わせて海外からの来広者に対し被災地広島の体験を広く伝えることと世界で起きる自然災害や国際的な紛争地域への人道支援の必要性、開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴え、日本 Y M C A 同盟を通じて支援を行った。



① 広島 - ハノーバー交流ユース派遣

1988年にパートナーシップ締結、1992年から国際交流プログラムがスタート。国際情勢の影響で数年間、派遣が途絶えていたが、今年から交流が再開、7月20日から8月12日までの24日間、広島から4名の中高生をハノーバーへ派遣した。



② 広島 - ホノルル交流ユース派遣

7月21日～8月2日の2週間の期間で行われ、ハワイ・ホノルル Y M C A へ16名のユース・1名のスタッフを派遣した。平和学習・異文化交流・野外活動などを通して、ホノルル Y M C A のユースとキャンプやホームステイを通して交流を図った。



③ 国際協力募金キャンペーン

世界で起きる自然災害や国際的な紛争地域への人道支援の必要性 開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴えキャンペーンを行い、広島市・福山市・東広島市等でボランティアによる街頭募金を行った。広島県民から寄せられた善意は、日本 Y M C A 同盟等を通じて、難民支援・被災地支援・ユース育成等に活用される。

2019年度国際協力募金額：1,558,861円

募金ボランティア：約 350名



④ 広島・フィリピンワークキャンプ

台風 30 号の被害にあったセブ島を広島の青少年・学生が訪問し、現地の青少年と相互理解を深めながらボランティアとしてワーク活動を行うプログラム。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。しかし、古水着の支援物資は3月中旬まで集め、セブ Y M C A へ送付し、継続支援とした。

日程：2020年3月11日～25日 中止



4) 災害支援活動

2019年度の災害復興支援活動は以下の内容が展開された。

①西日本豪雨災害復興支援活動

2020年2月8日～9日の1泊2日で、西日本豪雨災害で被災した地域の子ども達を対象にした「リフレッシュスキーキャンプ」を、企画・実施した。坂小学校メンバー67名、小屋浦小学校メンバー14名、メンバー合計81名でリフレッシュキャンプを琴引フォレストパークにて実施。ウエルネススタッフ3名、専門学校スタッフ1名、ボランティアリーダー3名、専門学校社会体育科1年生10名、カメラマン1名、総勢18名という万全のスタッフ体制をとり、全体で99名が参加するキャンプとなった。心配されていた雪も好運にも1日目の夕方から大量に降り、2日間で約60名の子ども達がリフトに乗ることができた。



②台風15号19号災害復興支援活動

12/1(日)、台風15号19号災害の被災地にクリスマスリースを贈ろうということテーマにYMCAに通う子ども達が参加しクリスマスが行われた。澤村雅史チャプレンの司式により、YMCAクワイヤーの賛美歌サービスのもとクリスマス礼拝が行われ、ワイズメンズクラブのメネットの方がリース作り方を指導。子ども達は思いを込めリース作りに没頭した。子ども達にとっては、支援が必要な方々のために自分が何ができるのかを学べた1日であった。

その後、制作されたクリスマスリースは、復興支援を行う全国の災害支援センターや被災した地域の施設(福島・栃木・東京・横浜・長野等)に全国のYMCAを通して送られた。



とちぎ 宇都宮



福島 いわき市



東京のチャリティーコンサート



横浜 川崎の教会

4. ボランティア・リーダー / ユース育成活動

本法人の会員や市民にボランティアの機会を提供し、様々な活動を通してボランティアの育成を図った。また、日本YMCA同盟等が行うリーダー育成事業・ボランティア育成事業に参加する機会を設け支援を行った。特に2019年度は、ロンドンで開催されたYMCA175周年の世界大会に広島からユースを派遣し、世界中の若者に対し、8/6に核兵器の実相を伝えるプレゼンテーションを行う機会も作った。多くのユースがYMCAの理解と社会参画ができる機会を提供した。



西日本リーダー研修会（熊本）

◆YMCA世界大会 YMCA175に広島のユースを派遣
日程：8月4～8月8日 場所：ロンドン/イギリス
大会8/6の朝、広島YMCAから派遣された新谷菜さん（上智大学3年）がディボーションの時間に、広島の核兵器被害の実相について、プレゼンテーションを行い、祈りを導いた。



YMCA175世界大会 原爆被害を伝えるプレゼンの実施

◆アジア太平洋YMCA大会 / ユース・アッセンブリー
日程：8月31日～9月6日 場所：東山荘
「アジア太平洋YMCA大会」が静岡県御殿場で開催され、広島YMCAからはユーススタッフ2名と講師として常議員のステーブン・リーパー氏を派遣。アジア・太平洋に連なるYMCAへの平和発信は、今後のアジアのYMCAの平和連携にとって、とても重要なものとなった。



アジア太平洋YMCA大会

◆ワイワイフォーラム
日程：4月13日 場所：広島YMCA
ワイズメンズクラブのY・ユースボランティアのY・YMCAのYということで、3つのYが集まったYYYフォーラムを開催。「フィリピンワークキャンプ報告会」が行われ、参加したユースの辻拓実君（YMCA専門学校2年）が行いました。



◆ロータリークラブフィリピンワークキャンプ報告会
日程：6月4日 場所：リーガロイヤルホテル広島
YMCAフィリピンワークキャンプ報告を広島ロータリークラブの例会で実施。4名の報告者は、ストリートチルドレンのためのフードボランティア 被災小学校でのワークの内容 フィリピンの生活様式や食文化等の経験を報告。参加した学生にとって、とても貴重な体験となった。



◆西日本YMCAリーダー研修会
日程：11月3日～5日 場所：熊本YMCA
ユースリーダー2名 スタッフ2名を派遣

◆サーロー節子さんを迎えてユース交流会
2017年ノーベル平和賞でスピーチを行ったサーロー節子さんが広島YMCAを訪問。YMCAのリーダーをはじめとする広島で平和活動を展開するユース（高校生・大学生・地域サークル・NPO・個人など）と交流会をYMCAが企画し、実施した。反核の活動家として偏見と闘いながら「死んでいったものために語り続けなければならない」という言葉は、集まったユースの心に深く刻まれ、自分たちが行っている行動の重要性を再認識できる交流会となった。



◆主催・共催事業

2019年(令和元年) 11月29日 (金曜日) 広島

核禁止条約発効へ行動を

中区で被爆者ら学習会



核兵器禁止条約を学ぶ市民学習会

広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

「核禁条約批准」願いとす

採択2年 原爆ドーム前で市民集会



広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約の批准を願うキャンドルナイトの事務局として参加↑

←ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会の事務局として主催

◆YMCAがサポートした活動

広島市の若者のNPO反核イベントをサポート↓

河木さんを語り継ぐ

中区で被爆者ら学習会



核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

議員や若者核廃絶議論

中区イベントに学生ら100人



核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

船の旅に被爆ピアノ

ピースポート 8月出港 船内演奏会



核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

広島都市圏

交差点

環境や核廃絶思い同じ



核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

国会議員に聞く核政策への考え

要す中区

全棟保存求め市民ら集い

被服支庫に県内外から15人



核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

核兵器禁止条約が発効する。広島市立中央図書館で開かれた市民学習会。参加者は約30人。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。司会進行は、広島市立中央図書館の職員。

旧陸軍被服支庫・保存運動のサポート↑

2018年度 公益財団法人広島YMCA 収支決算表

勘定科目名	内 容	金 額
受取寄付金	ワイズメンズクラブの寄付 広島ロータリークラブフィリピン支援金 広島YMCA礼拝 献金 バザー寄付金他	555
受取会費	YMCA 維持会費	2,651
事業収益	バザー チャリティーランなど	3,170
募金	街頭募金 一口募金 カウンター募金 募金箱募金 法人募金他	1,660
災害支援募金	西日本豪雨災害他	5,006
寄付金収入	こども平和モニュメント寄付	1,000
	合 計	14,042

支出

勘定科目名	内 容	金 額
プログラム費	広島・福山・東広島バザー等 国際プログラム運営費用他	651
海外旅費交通費	フィリピンワークキャンプ支援・海外ゲスト招聘他	1,875
国内旅費交通費	ユースリーダー研修会(年3回×数名) 国際担当者会議出張他	89
支援金	障がい者キャンプ補助 留学生生活費補助 フィリピンワークキャンプ助成金他	636
広報宣伝費	GCCパンフレット YMCAニュース制作 封筒代他	662
委託費	管理運営・会計監査費用・同盟負担金他	194
通信運搬費	電話料金 海外郵便 YMCAニュース発送費他	307
印刷製本費	コピー・印刷代	439
消耗品費	用紙・文具・チャリティーラン・募金グッズなどの備品他	83
施設借用料	GCCプログラム会場使用料他(ホール・貸館・教室など)	372
消耗什器備品費	チャリティーラン参加賞 GCCプログラムレンタル備品	161
寄附金・諸謝金	他団体への寄附・協力者への謝礼・交通費他	452
諸会費	関係団体・協力団体会費他	200
保険料	海外プログラム派遣者保険他	0
災害復興支援活動費	東日本・熊本・広島豪雨復興支援 被災YMCA支援	3875
その他	人件費・雑費・振込手数料他	1186
	合 計	11,182

	収 支 差	2,860
--	-------	-------

公益財団法人広島YMCA
理事長 殿納 隆義 様

監 査 報 告 書

私は、公益財団法人広島YMCAの2019年4月1日から2020年3月31日までの理事の職務執行状況並びに会計処理・財産状況について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議の議事録を確認し、理事及び職員からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

2020年5月14日

公益財団法人広島YMCA

監 事 榎 並 毅



みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人 広島YMCA

〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 Tel 082-228-1151 Fax 082-211-0366